

令和4年6月市議会定例会より

工藤市長の一般行政報告

6月10日から15日間の会期で開催された市議会定例会では、初日の一般行政報告をはじめ、6月補正予算の審議などが行われました。
※全文は市ホームページにも掲載しています。



外来診療についても、出張医師のいない木曜日は常勤医師のみの対応になりましたが、それ以外の曜日については、出張医師との2人体制がとれることもあり、外来診療をとめることなく、日中の緊急対応が可能になりました。

う、十分な予約枠を確保し、接種を呼びかけながら進めてきており、12歳以上の、6月8日現在の接種率は、76.8%となっています。

での感染が目立つほか、感染経路としても家庭内感染のケースが多く見受けられます。

ワクチンの有効性については、十分ご理解いただいていると考えていますので、引き続き、多くの方に接種を受けていただくよう呼びかけていくとともに、改めて、日々の生活における感染防止対策を徹底していただくよう、お願いいたします。

り、関係団体で協議を進めてきた観光地域づくり法人、いわゆるDMOにつきましては、本年1月14日に候補法人の登録申請を行い、3月28日付けで観光庁の登録を受けたところです。

常勤医師が確保され、心臓など循環器疾患による緊急時に、名寄市立総合病院への救急搬送によらず、地元で対応できるケースが増えることで、市民の皆さんにより安心していただけると思っております。

また、5歳から11歳のお子さんを対象とした小児用ワクチンの接種率についても、対象者の38.3%が1回目の接種を受けており、本市におけるワクチン接種については、市民の皆さんのご理解をいただきながら、2回目も含め順調に進んでいるところと見えます。

また、市では現在、重症化予防を目的とした4回目接種について準備を進めているところと見えます。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

行政としても、DMOが策定する戦略との整合性を図りながら、様々な事業の実施に努めるとともに、公的立場から、必要に応じたバックアップをしていきたいと考えています。

引き続き、圏域の中核病院として、常勤医師の確保をはじめとした医療体制の充実に向け、市立稚内病院事業管理者と連携して取り組んでいきます。



市立稚内病院で行われている「小児用ワクチン接種」

対象は、60歳以上の方と、基礎疾患を有する18歳以上の方で、接種時期は、3回目接種から5か月の経過期間が必要であるため、高齢者施設等に入所されている方は6月18日以降、それ以外の方は7月1日以降からとなり、対象となる方には接種可能な時期の2週間程度前に、接種券を発送いたします。

なお、今回は、「候補法人」としての登録であり、今後3年間の、安定した取り組みに対する評価や、その他必要とされる要件を満たしながら、本登録を目指すこととなります。

学校給食の停止について
4月25日に開催された市議会臨時会において、教育長から特別発言がありまして、学校給食の停止に関する調査等の結果とその後の対応を説明させていただきました。

市立稚内病院の循環器内科診療体制について

市立稚内病院は、圏域の中核病院として、地域に欠かせない医療提供体制の確保に努めていますが、循環器内科については、平成22年度末に常勤医師が退職して以降、出張医師による外来診療体制となっております。

そのような中、11年ぶりに循環器内科の常勤医師が確保できたことから、これまで出張医師の勤務体制により対応できないケースが多かった、休日や夜間の心臓の緊急手術が、本年4月から対応可能となりました。

また、術後に高度な集中管理が必要となる場合には、これまで同様、名寄市立総合病院などへの搬送が必要となりますが、それ以外の場合は、市立稚内病院での入院治療が行える状況です。

また、5歳から11歳のお子さんを対象とした小児用ワクチンの接種率についても、対象者の38.3%が1回目の接種を受けており、本市におけるワクチン接種については、市民の皆さんのご理解をいただきながら、2回目も含め順調に進んでいるところと見えます。

今後もし引き続き、様々な媒体を通じて、市民の皆さんにお知らせいたします。

観光振興に関しては、これまででも、それぞれのまちで様々な取り組みを進めてきましたが、来訪者数の減少が続いていることや、新型コロナウイルスの影響も相まって、観光業界のみならず、地域経済を支える事業者の経営環境は、より厳しさを増していると受け止めています。

今回の件に関し、稚内保健所は、4月20日から27日にかけて、調理場内の実地調査、保存食の検査、調理従事者の検便検査のほか、全児童生徒・教職員を対象としたアンケート調査などを行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

総合病院への救急搬送により、対応してきました。

昨年12月から開始した、3回目となる追加接種は、接種が可能な市民全員が、大型連休前の4月中旬には接種を受けられるよう

ただ、最近の感染状況を見ると、現時点でワクチン接種できない5歳未満のお子さんをはじめ、若年層

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

その結果、原因として疑われ

その結果、原因として疑われ

地域連携DMO候補法人の登録について

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。

このDMOは、地域の多様な関係者を巻き込みながら、地方への誘客や、滞在時間の延長を図ることなどにより、旅行消費額の拡大を目指す組織として、稚内市・礼文町・利尻町・利尻富士町の1市3町の、経済界をはじめ、行政・金融など、幅広い関係者で構成されています。